



全国安全週間

準備期間 : 令和6年6月1日～令和6年6月30日

本週間 : 令和6年7月1日～令和6年7月7日



令和6年度スローガン

『危険に気付くあなたの目
そして摘み取る危険の芽
みんなで築く職場の安全』

毎年恒例の安全週間を前に、6月から準備期間が始まります。
これから夏本番に向けて気温や湿度も高くなり、熱中症をはじめ現場でのちょっとした事故も起きやすい時期となります。

改めて安全を考える期間として、みんなでスローガンを意識して取り組みましょう。

今後とも皆様のご理解・ご協力のほど宜しくお願い致します。



【趣旨】

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で97回目を迎える。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきた。この努力により労働災害は長期的には減少しているところであるが、令和5年の労働災害については、死亡災害は集計開始以降最少となった前年を下回る見込みであるものの、休業4日以上死傷災害は前年同期よりも増加しており、過去20年で最多となった令和4年を上回る見込みで、平成21年以降、死傷者数が増加に転じてから続く増加傾向に歯止めがかからない状況となっている。特に、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害が増加し続けており、死亡災害については墜落・転落などによる災害が依然として後を絶たない状況にある。

また、労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、令和5年3月に策定された第14次労働災害防止計画に基づく施策を着実に推進することが必要であり、計画年次2年目となる令和6年度においても、引き続き労使一丸となった取組が求められる。